

認知症に関する活動計画（概要）

鹿児島県作業療法士会の地域リハ推進部には2014年より「かごしま認知症OTネットワーク」という下部組織が配置されており、約20名のネットワーク員とともに認知症に関する研修会の実施や地域での催し物への参加などを行ってきました。2020年の活動内容としては、「認知症の人への作業療法の実践 鹿児島県の今 in zoom」という交流会と生協コープかごしまからの認知症対策に関する依頼などが挙げられます。

交流会・研修会

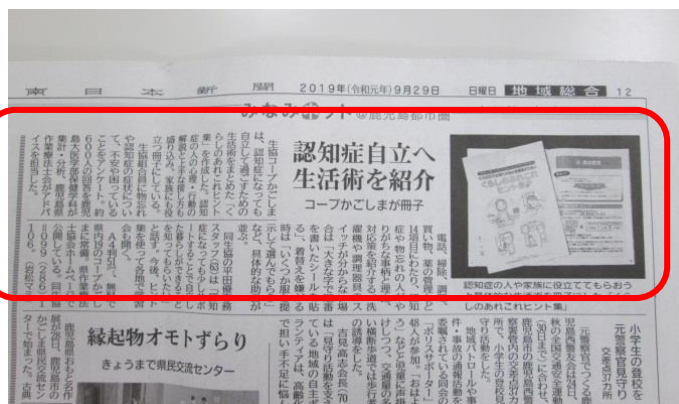
認知症の人に関わるOTが、実際どのような支援をしているのかを急性期リハ、回復期リハ、療養型病床群、訪問リハ、通所リハ、介護老人保健施設等の様々な分野の人で語り合う交流会を開催した。本年度もWEB研修会を開催予定。

生協コープかごしまへの協力事業

生協コープかごしまから「認知症に負けない暮らし（健康）づくり」とのタイトルで、鹿児島大学保健学科と鹿児島県作業療法士協会が提携し取り組みを行っています。

具体的な生活術を冊子にした「くらしのあれこれヒント集」を作成。鹿児島大学の田平教授を中心に、かごしま認知症OTネットワーク員で作成した。作成過程では、認知症家族の会鹿児島支部に原稿をみて頂き意見をもらいました。完成した冊子には、感想も寄せられています。また、地方紙（南日本新聞）にも取り上げて頂きました。

「くらしのあれこれヒント集」をテキストに、生協組合員へ講座を鹿児島県全域で開催予定しております。



今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修事業の継続
- ・ 生協コープかごしま協力事業の拡大